

読者新聞

栃木 TOCHIGI

宇都宮支局 〒320-0822 宇都宮市河原町1-4 電話028-638-4311 Fax 028-638-8300
小山支局 〒323-0807 小山市城東1-7-30 電話0285-22-0855 Fax 0285-23-1556
日光支局 〒321-1266 日光市中央町1-6 電話0288-21-2434 Fax 0288-21-4413
足利通信部 0284-41-2969 栃木通信部 0282-22-1150 佐野通信部 0283-22-1111
真岡通信部 0285-82-2672 大田原通信部 0287-22-2115 那須塩原通信部 0287-62-2829

購読、配達 栃木北部読売会 028-638-6300 栃木南部読売会 0285-30-2343
関連会社 読売栃木広告社(県版広告) 028-635-1261 栃木読売IS(折込) 028-612-2015
読売旅行宇都宮営業所 028-624-8181 読売・日本テレビ文化センター 028-636-1818
栃木よみうり編集部 028-638-5200 栃木南部よみうりタイムス編集部 0283-85-8743

メールは utsunomiya@yomiuri.com へ

県古民家再生協会の鈴木健規代表理事(37)は、古民家の持つ独特の風格や味わいを生かしたまま、新たな住まいとして再生させるリフォームに取り組んでいる。鈴木さんに、協会の役割や、古民家の魅力について聞いた。(聞き手・松田陽介)



県古民家再生協会

鈴木健規 代表理事 37

県古民家再生協会 伝統的な工法で建てられた古民家の保存や活用などのために建物を調査し、文化的価値などを判断する「古民家鑑定士」らで組織。古民家の再生や維持管理、建材の買い取りなどに取り組んでいる。那須塩原市鍋掛。

■築88年をリフォーム
古い民家を再生させている。

「現在、さくら市で築88年の古民家のリフォームを手がけています。金物や筋交いを使わない伝統工法で建てられている家で、今年2月にこの建物を残したいが、どうしたらいいかという相談を受けました。どのようにリフォームしたらいいか半年かけて話し合い、9月に工事を始めました」

「通常の家のリフォームとは違うのか。」

「次の世代の子供たちが必要としなければ、古民家のリフォームは難しいということ。そのため、家族の皆さんの方向性を一つにしてもいい、どうリフォームすれば次の世代に受け継がれる家になるのか話し合いながら、間取りの変更などを設計します。今回は、古民家の良さを生かしつつ、寒い、暗いというデメリットを解消したプランを提案しました」

「リフォームの際、心がけている点は。」

「柱などの主要構造には基本的に手をつけず、表面を磨き上げることできれいにしていきます。昔の大工さんは木のねじれる方向を把握していて、柱と梁をつまみ組み合わせることで丈夫な建物を作っていました。100年たっている柱でも、外すとねじれてしまいます」

■強い日本の材木

「古い材木でも問題はないのか。」

「自然乾燥させた日本の材木は、切ってから100年から120年頃が一番強くなります。そして、1000年から1200年ほどかけて徐々に切り出したときの強さに戻ります。だから、築88年という解体するのほすべくもったいないのです」

「その土地の気候風土にあった材木を使うことも長持ちの秘訣です。」

古民家改装 魅力も次世代に



古民家のリフォームに取り組む鈴木さん(さくら市氏家で)

空き家解消へ全国に情報

きっかけは。

「もともと大工をしていて、日本の伝統技術に誇りを持っていました。独立して建築事務所を設立したときに古民家の解体依頼が来て、壊すのはもったいないと思ったのがきっかけです。そこで協会を作って、古民家の素晴らしさを知ってもらおうと思いました」

■伝統技術に誇り

古民家に関心を持ったとき

設立した。

「新しい材木より古い材木の方が強いということを、協会が発信したほうが説得力があると思いました。家というのは家族の歴史だと思います。家族の色々な思いが詰まった家を、古くなったからといって壊してしまっているのかわかりません。家族の歴史ある建物を次の世代に受け継いでもらいたいので

すずき・たけのり 1978年7月9日、黒磯市(現那須塩原市)生まれ。黒磯南高校卒業後、専門学校や工務店勤務などを経て、2001年にユニバーサルデザイン建築事務所(現ユニーホーム)を設立。10年、県古民家再生協会を設立した。



リフォームの依頼主と話す鈴木さん(左)(さくら市氏家で)

すね」

■「鑑定士」普及活動も

「古民家保存の取り組みは全国に広がっている。」「全国各地に協会があり、みんな力を合わせて活動しています。私は全国古民家再生協会の副理事長もしています。空き家問題について取り組んでおり、栃木県の古民家を全国の協会に発信してインターンやインターンの獲得を目指しています」

今後の活動は。

「協会では、古民家の価値を評価する『古民家鑑定士』の普及活動もしています。古民家というのは車でいえばベンツ、スーパーです。古民家ならではの建物の良さや、文化的な価値を分かってもらいたい、インターンやインターンしてきた人が住めば、空き家問題や栃木県の人口問題解消にもつながると思います」

「県内には、昨年12月現在で約4万棟の古民家があります。が、これらを、ただ残すだけでは意味がありません。流通の活動に加え、どうしても解体することになっても、材木を買い取って廃棄物を少しでも減らしたい。そうした活動で、素晴らしい古民家の減少に歯止めをかけたいと思っています」



35 きょうの栃木版から
すれちがう屋台にぎやかに
那須の神社例大祭で競演

30 栃木SCを激励する横断幕
31 おくやみ
32 若者と市議が語り合う会

31 准教授強制わいせつ容疑
32 LRT1年目から黒字予測
地名の知



からだを
なかから
きれいに

レストラン
ぴっころ
洋食屋
足利アピタ南公園前
秋定コーズ
お食事会
ご予約受付中
アルバイト募集中!
0284-71-1117